

大分県  
初!!

# 電子お薬手帳

健康情報 貯金箱/お薬情報 玉手箱

2013年**11月1日**<sup>(金)</sup>より開始しました。



## 永富調剤薬局 全25店舗導入

- パソコン上で、お薬の管理ができます。
- 検査値をご自分で入力することにより、血圧や体重・検査値管理が可能です。
- ジェネリック医薬品との差額確認ができます。
- 万が一災害に見舞われた場合でも、インターネット上に記録が残り、安心です。

登録をご希望の方は、お気軽に  
店舗内スタッフまでご相談ください。

詳しくは  
コチラ▶  
をチェック!



電子お薬手帳は、今までの紙のお薬手帳に替わるものではありません。  
今までの紙のお薬手帳のほかに、電子化したデータをお渡ししています。

## 県内初の「電子お薬手帳」

処方された薬の情報が一覧できる「電子お薬手帳」。県内で初めての導入



永富調剤薬局が導入

服薬履歴、一目で

会（東京都）を中心に構築したシステムで、導入は全国でも一番目という。グループを含む全25店舗で対応する。店頭で電子版の登録を希望する顧客にカードIDを配布。インターネット上で会員登録すると専用ページができて、情報が閲覧できる。同社で調剤した薬の情報も各店舗に登録する。

永富調剤薬局（本社・大分市）

携帯電話に薬の服用時間を自動

は1日から県内で初めて「電子お薬手帳」を導入した。従来の冊子の手帳と違い、薬の情報を電子化することで、いつでもどこでも薬が処方されたかが一括管理でき、薬の併用や重複投薬を防げる。小さな子どもや離れて暮らす家族の健康状態のチェック、災害時、旅行時の投薬などにも役立てられるという。

合サイトとなっている。

同社の安江英由紀薬局本部長は「病院との連携や服薬履歴を見ながら薬局で相談に応じるなどさまざまな活用が期待できる」としている。従来の冊子型の手帳も今ままで通り配布する。

電子お薬手帳は日本保険薬局協

会（東京都）を